



7月は社会を明るくする運動強化月間

犯罪のない地域社会を目指す！！

～第63回社会を明るくする運動のつどいを開催～

と き 7月23日(火) 午後1時30分～4時

と ころ 練馬文化センター小ホール (練馬1-17-37)

犯罪のない地域社会づくりを呼びかける「社会を明るくする運動」が7月に強化月間を迎えたのに合わせ、23日、練馬文化センターで「社会を明るくする運動のつどい」が開催された。主催は、「第63回社会を明るくする運動」練馬区推進委員会。(委員長：志村 豊志郎練馬区長)

冒頭、練馬区教育委員会の河口 浩教育長が「区内でも凶悪な犯罪が発生している。地域の多くの方々が、子ども達を犯罪から守るという気持ちで見守っていただくことが、被害防止と非行防止につながる。」と訴えると、約500人の参加者たちは、真剣な面持ちでうなずいていた。

その後、薬物依存から立ち直るための施設で社会復帰を目指し、リハビリをしているグループによる琉球太鼓・エイサーが披露された。また、薬物をやめて懸命に生きる努力を続けている方の体験発表もあり、会場は、犯罪や非行のない地域社会づくりに向けて、改めて心をひとつにしていた。



教育長の挨拶



エイサーの披露

【社会を明るくする運動】

昭和26年に始まった法務省が呼びかける全国運動で、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせて、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くことを目的としている。

練馬区でもこの運動の円滑な推進と実施に当たるため、保護司会を中心に、青少年育成地区委員会などの区内青少年関係団体や警察関係機関等が集まって「社会を明るくする運動練馬区推進委員会」を組織。区立小中学校のセーフティ教室などで、運動の周知活動を行っている。

【社会を明るくする運動のつどい】

昨年の社会を明るくする運動作文コンテスト(“社会を明るくする運動”中央推進委員会が全国の小中学校から募集)に入選した区立中学生の作文朗読、群馬県藤岡市にある薬物依存症回復のための全寮制のリハビリ施設「日本ダルクアウェイクニングハウス」による琉球太鼓・エイサーの演舞等が行われた。

【日本ダルクアウェイクニングハウス】

薬物依存者同士のグループ・セラピーを基本に、薬物依存症からの回復と社会復帰に向けた自立を促す取り組みを行っている。リハビリの一環として琉球太鼓・エイサーの練習を取り入れており、精神と体力の回復をはかることで立ち直りの原動力となっている。

【問い合わせ】教育委員会事務局 こども家庭部 青少年課 青少年係 電話 03-5984-4691